

会報

熊本県日中協会

平成23年
8月発行《発行》
熊本県日中協会
会長 柏木 明《事務局》
〒860-0846 熊本市城東町4-2
熊本ホテルキャッスル2FTel 096-356-4847
Fax 096-325-2829

通刊80号

～さらなる友好の絆を～



平成23年度総会会場

「記念事業」を計画

副会長に米満弘之氏

平成23年度
総会

平成二十三年度熊本県日中協会総会は七月六日、熊本ホテルキャッスル地階の芍薬の間で、七十人が出席して開かれました。

柏木明会長が「今年は辛亥革命百周年です。孫文の革命を支えた荒尾市出身の宮崎滔天との深い友情は協会設立の趣旨でもあり、記念した企画を実施してい

ます」とあいさつ。

来賓の県知事代理の兵谷芳康副知事、駐福岡中国総領事館の白涛領事がそれぞれ「互いの交流を一層深めましょう」と祝辞を述べ、米満弘之常任理事の議長で議事に入りました。

平成二十二年度の事業、決算、監査の各報告、平成二十三年度の事業計画、収

支予算(案)、任期満了に伴う役員改選では米満弘之常任理事の副会長昇格が全会一致で承認されました。

また、新入会員、今年度の行事紹介があり、閉会しました。

総会終了後は、引き続き同会場にて、石原進九州観光推進機構会長(九州旅客鉄道株式会社代表取締役会長)が「九州の観光戦略」と題して講演。今後の九州観光の課題などについて熱く語りました。

今年度の事業計画

- ① 日中交流の推進事業
- ② 会報の発行
- ③ 会員の拡大と協会運営活動の充実
- ④ 交流事業の開催
- ⑤ 辛亥革命百周年記念事業の開催
- ⑥ 第30回熊本春節祝賀会の開催
- ⑦ 中国文化の紹介活動
- ⑧ 熊本県中国残留孤児等

対策協議会への協力など

辛亥革命百周年記念事業

孫文先生の足跡を訪ねて

孫文顕彰訪中団(仮称)

10月16日(日) 荒尾市の宮崎兄弟資料館など、孫文ゆかりの地を訪ねる日帰りバス旅行

11月11日(金)～13日(日) 中国南京の中山陵や孫文記念館を見学する訪中団を計画中

日中保健・医療・福祉フォーラム

10月15日(土) 熊本県と友好提携している広西壮族自治区、熊本市の友好姉妹都市の同自治区内桂林市から訪日団を受け入れ、医療・福祉・保健・看護・漢方の分野のフォーラムを開催します。

※別紙チラシをご参照ください。

熊本国際交流祭典
11月6日(日)
午前11時～午後5時
サンロード新市街

熊本県日中協会も参加して、麻花(マフア)という中国菓子の販売や辛亥革命のパネル展示など行います。どうぞお越しください。

「これぞ観光戦略」

九州観光推進機構会長 石原進氏が講演



熱く語る氏
石原進氏

韓国、中国からの観光客が激減。（原発事故で）

「日本中が放射能汚染」という印象が強く、払しょくが急務。

GDPで中国は急上昇。中国人の海外旅行者は昨年一年間で三千万人を超えて

おり、原発事故は観光事業にとって大きな痛手である。観光の課題は①おもてなしが重要で②情報の発信や③空港の整備④旅のバリアフリーが必要。

九州観光推進機構は九州アジア観光戦略特区を設け、①東アジアの日常的な安・近・短観光特区②東アジアの治療健診療養特区など展開したい。

また孫文と九州のタイトルで、海外から観光客を呼び込むなど、観光素材の発掘が必要だ。

熊本ではオリジナリティーが求められる。観光資源の棚卸しで、熊本城、水の都阿蘇の自然、歴史、街並み、食と水など、情報の提供をどうやっていくかが課題。

たとえば観光列車ネットワークの充実、名物の辛子レンコンや馬肉売り込みなど。イベントでは水あかりは最高。坪井川と熊本城を舞台にムードあふれており、今後伸ばして欲しい。

会員が和やかに団らん

総会後の懇親会

講演の後は、花菖蒲の間に会場を移し、懇親会が行われました。

新入会員・新役員の皆様

や、昨年末にご結婚されたばかりの九州日中民間文化交流協会の張会長のスピーチなどもあり、参加者は和気藹々と料理と歓談を楽しみました。



当協会の第2代会長
澤田一精元県知事
の乾杯の音頭で
スタート



懇親会場

→新会員



西田田鶴子さん



鬼海洋一さん



竹地勝治さん



長尾和治さん



上坂知剛さん



張晶先生と奥様の松下文さん

新婚さん



村上博喜理事・運営委員
(株式会社暖社長)



荒牧邦三常任理事
(株式会社熊日会館社長)



米満弘之の副会長
(熊本機能病院理事長)

←新役員

安全で安心のある暮らしのお手伝いをいたします！

放射能検査
はじめました！

水道水・環境水・食品の細菌及び理化学・残留農薬検査など

厚生労働大臣・熊本県知事登録検査機関

社団法人熊本県薬剤師会 医薬品検査センター

〒860-0811 熊本市本荘3-2-19 / TEL: 096-366-9372 / FAX: 096-366-9377



桂林から研修医来熊

熊本・広西歯科医療交流協会

今年5月9日から、桂林

市口腔病院の汪海峰先生が
熊本大学の研修医として来
日、伊東歯科口腔病院や熊
大病院歯科口腔外科などで
研修を受けました。

この研修事業は、伊東歯
科の伊東隆利院長（熊本県
日中協会常任理事）と、昨
年4月に来日された桂林歯
科病院の帳偉一院長、熊大
学院生命科学研究部の魏
長年准教授の共同企画で実

現したものです。

汪先生は7月9日まで、
伊東歯科で口腔外科、歯周
病、歯科矯正などの研修を
受け、外来治療や技工室を
見学、特に、外科的顎矯正
やインプラントに興味を持
たれました。

その後、熊大病院歯科口
腔外科、熊大学院生命科
学研究部でも研修、また、
合間を縫って、県知事、県



↑伊東歯科で講演中
の汪海峰先生
←手術を見学する汪
先生（中央）



汪海峰先生（左）と伊東隆利院長

歯科医師会会長、県日中協
会会長、市歯科医師会会長
を敬訪問、各種交流会に
参加するなど、日中交流活
動も行い、7月25日に帰国
しました。

「汪先生はとても気さく
な性格で、院内のスタッフ
とも直ぐに仲良くなりまし
た」と伊東歯科の関係者も
楽しく有意義な交流ができ
たと喜んでいきます。

伊東隆利院長は、平成2
年から、中国広西壮族自治
区との歯科医療交流を開始
平成4年には熊本・広西歯
科医療交流協会を設立。以
後、同自治区との歯科医療
交流活動を続けています。

参加者募集！！

孫文先生の足跡を訪ねて

10月16日(日) 日帰りバスツアー

旅行代金 5,000円 交流会費 4,000円

中国辛亥革命の指導者である孫文は、
熊本県を二度訪れたことがあります。

辛亥革命100周年を記念して、かつ
て孫文が訪れた地を巡る日帰りバス旅行
です。中国からの訪日団の皆さんとの昼
食交流会も開催します。

お問い合わせ、お申し込みは協会事務局
まで (096-356-4847)



ジアン ハイ シ ラオ ダ ラー

姜 还是 老的 辣

(生姜はやはり古いのが辛い)

亀の甲より年の功

太陽と緑のとおき果汁



JA熊本果実連

【本部・熊本工場】 〒861-8514 熊本市小山町1846
Tel.096-389-3311 Fax.096-213-3286
【ホームページアドレス】 <http://3kj.jp>

清の皇帝が執事 “小ポタラ”も圧巻 承徳の避暑山荘と 周辺の仏寺



避暑山荘と周辺の仏寺
上部が通称『小ポタラ宮』

世界遺産の旅

北京から東北へ二百三十
き。途中の広大な穀倉地帯
貯水池を抜けると、美しい
街並みが現れる。
清の康熙帝が一七〇三年
に造営開始し、乾隆五七年
まで九十年の歳月を費やし
た。
避暑山荘は満、漢、チベッ
ト、モンゴル、ウイグルの
五民族の融和と団結を目指
して造られ、標高五百呎で

夏は涼しく、皇帝たちは一
年の半分をここで朝政を執っ
た。山荘の周りは万里の長
城のような城壁がめぐり、
歩いて一周できる。
避暑山荘の建設と前後し
て、背後に造られた外八廟
のチベット仏教の寺院群。
中でも普陀宗乘之廟大紅台
はチベットのポ
タラ宮に似てい
るところから
「小ポタラ」と
呼ばれている。
一九九四年に
世界遺産に登録
された。
(随時掲載)



金山島

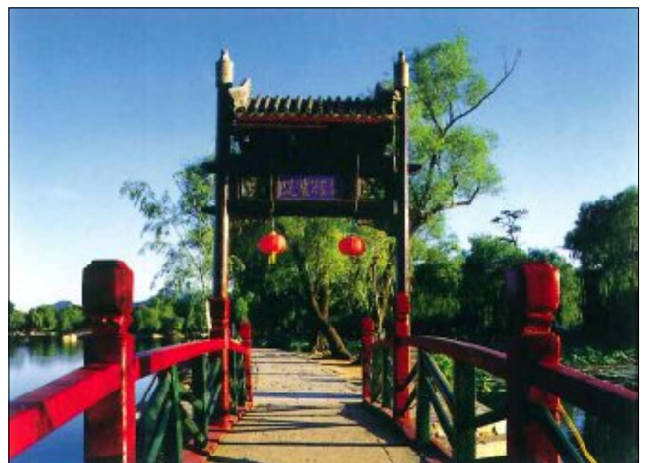


普寧寺



大乘之閣の千眼千手観音像

芝徑雲堤



編集後記

辛亥革命から今年が
百周年。孫文の革命を
支えた宮崎滔天の出身
地・荒尾市では各種の
イベント企画が予定さ
れています。

県日中協会でも独自
の企画や同市の協力な
どをもらった記念催事
を計画中です。

現在、熊日朝刊に辛
亥革命と滔天の特集が
毎週金曜日、文化欄に
掲載中です。

柏木会長が熊日の伊
豆社長に掲載のお願い
をした経緯があり、実
現しました。

記者が特集班を組み、
充実した紙面となっ
ています。会員の方も
是非一読ください。

(機関紙編集委員会)

小串 照彦